

平成 24 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 あかつきフィナンシャルグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 島 根 秀 明
(コード 8737 大証第2部)
問合せ先 執行役員管理本部長兼総合企画室長兼財務経理部長 川中 雅浩
(TEL 03-6821-0606)

平成24年3月期業績と前年業績との差異に関するお知らせ

平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の業績が、前期の平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の業績に対して、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期業績と前年業績との差異について

(1) 平成 24 年 3 月期業績と前年業績との差異（連結）

(単位：百万円、%)

	営業収益	純営業 収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成 23 年 3 月期 (A)	3,352	3,207	△369	124	2,097	35 円 83 銭
平成 24 年 3 月期 (B)	2,945	2,802	△431	531	0.8	0 円 01 銭
増減額 (B-A)	△407	△405	△61	407	△2,096	△35 円 82 銭
増減率 (%)	△12.2	△12.6	—	326.9	△100.0	△100.0

(2) 平成 24 年 3 月期業績と前年業績との差異（個別）

(単位：百万円、%)

	営業収益	純営業 収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成 23 年 3 月期 (A)	152	111	△132	16	△426	△7 円 97 銭
平成 24 年 3 月期 (B)	266	178	△111	△97	△297	△6 円 35 銭
増減額 (B-A)	113	66	21	△114	128	1 円 62 銭
増減率 (%)	74.2	60.0	—	—	—	—

(3) 差異が生じた理由

当連結会計年度における我が国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により、サプライチェーンの寸断や企業の生産活動の低下、電力供給の制約など厳しい状況となりました。復旧復興への取り組みや景気対策等により、一部に景気持ち直しの兆しは見られたものの、雇用環境や所得環境の改善は進まず、長期的な円高や欧州債務危機の影響など、国内外において懸念すべき問題が多く、一年を通じて低調に推移しました。

このような環境の中、株式市場におきましては、震災の影響により軟調なスタートとなりましたが、米国の株価上昇や国内景気を持ち直しへの期待感から日経平均株価が10,000円台を回復する場面もありました。しかし米国のソブリン債の格付け引下げや欧州債務問題の深刻化などに影響され、日経平均株価は平成23年11月25日に8,135円79銭まで下落しました。平成24年に入ってから、米国経済指標や欧州債務問題の好感を受けて上昇し、平成24年3月末の日経平均株価は10,083円56銭で取引を終了いたしました。

また、あかつき証券(株)においては、現状の株式市況の低迷による営業収益の減少に対応すべく、外国債券及び投資信託の販売拡充による株式以外の収益の拡大・多様化を進める一方で、役員及び執行役員報酬の減額、通信・運送費などのあらゆる経費削減・効率化を行いました。さらに、現状の厳しい経営環境は長期化することが予想されることから、収益状況に見合う適正な人員体制を構築し、生産性の向上を図るため、平成23年11月に希望退職者の募集を実施いたしました。

このような株式市場の中で、当社の主要な連結子会社であるあかつき証券(株)の当連結会計年度の受入手数料は2,246百万円（前年同期比20.2%減）、トレーディング損益は435百万円の利益（前年同期比113.9%増）となりました。これにより同社の営業損失は316百万円、経常損失287百万円、当期純損失618百万円となりました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は2,945百万円（前年同期比12.2%減）、営業損失は431百万円（前年同期は営業損失369百万円）となりましたが、営業外収益に負ののれん償却額751百万円、持分法による投資利益174百万円を計上したことにより、経常利益は531百万円（前年同期比326.9%増）となりました。その一方で、特別損失に訴訟損失引当金繰入額226百万円やあかつき証券(株)における退職給付制度変更に伴う退職給付制度改定損212百万円を計上したため、当期純利益は0.8百万円（前年同期比100.0%減）となりました。

以 上